

AO・HANI

Social Welfare Organization AO-HANI Nara City Japan

2010
4月
第60号



4月を迎え新年度がはじまりました。政権も変わり自民党が成立させた障害者自立支援法は凍結廃止の方向となりました。にもかかわらずその全面否定した障害者自立支援法への移行は推進するという方針が示され、政策と実行がまったく正反対という政治主導に施設現場は混乱状態にあります。

そのような状況での施設運営は政策がどのようなあっても対応できるような柔軟な進め方をする他はありません。

まずは我々も事業仕分けをまねて、施設予算の見直しを進めています。

そのひとつに会報も対象となり、これまでのカラーや写真の多いものからモノクロ、自家印刷のものに変更することになりました。これまでは見た目にも明るく楽しく見ていただけることにより、施設イメージを少しでも良くする努力をしてきました。今回からそのような対応はできませんが、せめて中味をよくすることによって読んでいただけるものにしたと努力しているところです。

紙面も縦書きにして読みやすくすることになりました。これは基本的には新聞のつくりかたを真似してみたものです。また、柱みだし、肩みだし、袖みだしもなどもやってみるところです。素人編集なので今ひとつですが読みやすいものに努力していきますので宜しくお願いします。

青葉仁会の理念
「幸福の平等」を表したあおはにCIマーク



青葉仁の仕事について

おいしいレトルトカレーができました

今年度の就労支援部のモットーは「利用者」とスタッフの幸せを追求する青葉仁会です。

「利用者の幸せは何か？」「スタッフの幸せは何か？」両者とも青葉仁会の主役です。

両者の幸せなくして本当の青葉仁会の発展はありません。

平成二十二年度の就労部（就労支援部）は飛躍的な発展の基礎を作り上げる年になります。

クラフト班の紙漉きは遷都千三百年

祭にかかわる品々を開発し製作中です。

これを機会に雁皮紙の良さを強調できる

製品の開発にも努力しています。必ず良

い結果が出て人々の評判になることと思

います。

縫製班は新製品をメンバーに提案中で

採用されればどんどん注文が入りますの

で忙しくなりそうです。

クラフト班にも吉井新入職員が入って

くれましたので活躍が期待できます。



木工製品を作っている日笠ワークスは注文に即応できるように生産ラインの整備を今年の最大の課題にしています。

利用者が冬暖かく快適に作業が出来るように建物の改善や薪ストーブの導入などを進めています。

またご近所に機械の騒音が出ないように環境整備を急いでいます。これまでも増して注文が入り忙しくなりそうです。



デリカテッセン・イーハートーヴの一階は秋口の開店を目指し準備中です。美味しさで評判になり始めた米粉パンの工房を中心にレストランや惣菜店、近郊へのデリバリの基地として青葉仁会の中心的な店舗を目指しています。

昨年暮れから生産と発売が始まったレトルトカレー「世界で一つだけのカレー」は評判を得て快進撃中です。

各地からの引き合いも増えて今期はなお一層の拡張をはかれる部署と期待しています。

今後はオリジナルカレーの生産にも力を注ぎますので売り上げは飛躍的に伸びると予想しています。

いま青葉仁会で一番輝いている水間ワークスのハーブクラブ（レストラン・喫茶）は町から離れているにもかかわらずお昼などは満席になることもまれでは無く、確実にお客様が増えています。

ウッドイヤーな雰囲気とゆっくり流れる時間を味わえるレストランとして人気を集めています。利用者のサービスも板についてきたのも人気の一つであると考えられます。一層のサービスの向上に努めています。

今まで永年頑張ってくれた稲實主任は四月から本部の生活部に移り、これまでの経験を生かして利用者のケアと職員の指導をすることになり、代わって西本スタッフがハーブクラブを管轄することになりました。ハーブクラブの従来の良さを損なうことなく、より一層の満足をお客さんに提供できるものと思います。ぜひ、新しい西本スタッフのもとでのハーブクラブにご期待ください。



製パン班、製菓班も順調に発展しています。長畑新人職員も入ってくれて新しい方針もたち、これからの楽しみです。製パンは米の粉を原料とする美味しいパンで遠くからも買いに来ていただけるようになりました。

パンは何も外国からの輸入品に多くを依存している小麦粉に頼ることなく「豊葦原瑞穂の国」である我が国の米を使用するために安全性にも優れ、我が国の農産物を保護するうえでも優れ物で米粉パンの良さの見直しにつながればと頑張っています。

味も食感も優れて癖になりそうと言うファンも確実に増えています。製菓班もコンテストで銀賞をいただき一



クラフト班ジョギング大会 稲葉忠温先生を囲んで
旧家 稲葉邸

層の工夫を重ねています。種類も増え始めて各イベントにも出品させていただき売り上げと生産を増やす目処もついてきました。ぜひぜひ、ご賞味ください。今年の就労部はこれまでとの違いを鮮明になる年と位置付けています。単なる夢に終わらず実現を目指して展開してゆきます。今年こそ青葉仁会の就労部が利用者の満足、スタッフの満足を目指して変わる年にしてゆきたいと思えます。

競輪補助事業完了のお知らせ

このたび平成21年度の競輪の補助を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

事業名 平成21年度機器の整備補助

事業内容 レトルト高温高圧

調理殺菌装置

補助金額 795万円

実施場所 就労移行支援事業所

デリカテッセンイーハトーヴ

奈良市帝塚山南四丁目11-14

完了年月日 平成21年10月



生活支援部より

第九を熱唱しました

平成22年度、生活支援部は左記の目標を掲げ、職員が一丸となって支援に取り組みます。

1. 利用者の豊かな生活をつくる。
- ① 日中活動の充実
- ② 余暇の充実
- ③ 楽しく体力づくり
- ④ 利用者同士の良好な関係構築の支援
2. ご家族とのよりよい関係を構築する。



添付の写真は【NSK第九を歌う会】のステージ出演前に控え室で撮られたものと【メチャハッピーまつり】に参加した時のものです。まさに『天使の微笑み』です。

今年度はさらにたくさん笑顔に出会うため、豊かな生活を構築していきます。また支援スタッフのスキルアップのため様々な研修の機会をつくります。

ご家族の皆様方、地域の皆様方、関係機関の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

生活支援部 山出哲史

私が昨年9月1日に入職して以来、早7ヶ月が経ちました。生活支援部長・施設長の本来職務に携わりながら、可能な限り日々の生活支援や日中活動支援等の現場に入ってきました。また、催しへの参加や運営（春咲きコンサート・NSK第九を歌う会・オータムレク等）にもかかわるなかで、様々な場面で利用者さんが見せるたくさん『笑顔』に出会い、魅了されました。



稲葉忠温記念自然園

山菜パーティーと記念植樹祭

いなば ただはる

青葉仁会前理事長・稲葉忠温先生がご自宅を青葉仁会に
寄贈された事を記念して、周辺を青葉仁会が
「稲葉忠温記念自然園」として整備します

植樹祭山菜パーティーのご案内

- 日 時：平成22年4月25日（日） 午前10時～午後3時
- 場 所：奈良市柚ノ川町稲葉邸
青葉仁会本部とハーブクラブ との中間・当日看板が出ます
- 参加料：大人：2,000円
子供：1,000円



旧家 稲葉邸

稲葉忠温記念自然園

- 1) 一年を通じて花や実を鑑賞できる樹木、桜・花桃・花梅・山茶花・シヤクナゲ・山吹などを植える
- 2) 一角に小鳥などの集まる木を植えて巣箱を木工工作などで作り小鳥の姿声を楽しむ
- 3) 湿地帯にはアヤメやカキツバタ・水芭蕉などの水辺の花を植える
- 4) 湧き水や池には水生昆虫やメダカなどの集まり易い環境を作る
- 5) 万葉集や古事記に出てくる植物を集める

稲葉忠温記念自然園の利用

- 1) 青葉仁会のイベント、地域の方々との交流・収益事業・各種講座・研修会・ライブなどを催し併せて稲葉忠温先生の功績を顕彰
- 2) 奈良の自然と歴史を体験できる場
- 3) 利用者、職員家族との交流の場として利用

山菜パーティー

春の山菜を摘みながら山菜のてんぷら・山菜ごはん・竹めし・大鍋での豚汁など参加者の皆さんとアウトドアクッキングを楽しみます。山菜など材料は前もって確保しておきますが当日も皆さんに採取してもらいます

忠温倶楽部（チュウオン・クラブ）会員募集

稲葉忠温記念自然園を整備する資金を募集

1口 5000円（何口でも歓迎）として皆さんのご寄付をお願いしています。寄付金は植木や花、花壇や周辺整備やクラブの運営費に使わせていただきます。稲葉忠温記念自然園の維持管理は忠温倶楽部員と青葉仁会利用者・職員・スタッフ（青葉仁会互助会）の奉仕で行います。詳しい計画は当日発表します。

初夏一番

グリーンフェスタ

大和高原を自転車できわやかに

今年も、新緑の季節恒例イベント「グリーンフェスタ」を開催いたします。

今年で6年目となる青葉仁会恒例サイクリングイベント。大和茶の茶畑の鮮やかな新緑が眩しい候、奈良市柚ノ川で自転車に乗ってさわやかな風をきってサイクリングしませんか。青葉仁会で開催するイベントには、施設利用者を始め、ご家族、カップル、友達同士、大学のサークルや、自転車チーム、初心者からベテランまで、毎年色々な方々の参加と出会いがありました。特に施設利用者の参加者は、毎年必ず参加する人が多く、初めは自転車の運転がおぼつかなかった人が、年々上達していく姿にはとても感動させられます。その他会場には、たこ焼きや焼きそばなど模擬店の出展もあり、自転車に乗らない方でも楽しめる企画をご用意しています。今年もたくさんの方々と出会い、共に感動を分かち合えれば幸いです。お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

グリーンフェスタ2010

日時 2010年6月5日(土)

午前10時から午後3時まで

場所 旧家 稲葉邸

サイクルイベント参加費 2,000円

レンタルサイクル料 1,500円(要予約)

※上限30台(小児用若干)

エミコ・シールさん支援募金コーナー設置



ワークショップ

単箱作り

模擬店

カレー・唐揚げ・他



イハトウ

くずまき高原牧場への旅のお誘い

ぜひ一度

障がい福祉の現場では「就労が重要なキーワード」になっています。

青葉仁会では「就労を通じての発達支援」をテーマに、あるべき福祉就労の形とは何かを考えてきました。それは、内職や下請けだけに頼らず、優良で安定した企業と提携して就労の機会を創出し、就労支援を通じて、発達支援につなげていくことです。そのため、いい提携先との出会いを大切にしています。「くずまき高原牧場」との出会い、そのひとつでした。同牧場の牛肉からあおはにビーフカレーが生まれました。そのカレーの工程には、障がいのある人たちプロフェッショナルとしてかかわっています。またあおはにの商品が牧場のお土産物として並んでいます。

青葉仁会がお誘いする「くずまき高原牧場への旅」が、福祉の現場に関わる方々に、福祉就労との提携という観点において何らかの参考になれば幸いです。そして、緑の牧場と青い空、豊かな乳製品そして美味しいワインも満喫していただければと思います。

日程 平成22年6月1日(火)〜3日(木)

料金 おひとり69,800円

宿泊先 浄土ヶ浜パークホテル

くずまき高原牧場・宿泊施設プラトール



見逃す可い風景のくずまき高原牧場

発達と成長を 支える ものづくり

青葉仁会では知的障害のある人達に対する発達支援として「ものづくり」に取り組んでいます。それは知的に障害のある人達にとって、その障害の改善に発達と成長が欠かせないからです。ものづくりが成長・発達の支援につながる考え方には、身体的な筋肉刺激によるものがあります。それは生産活動を通して身体を動かす筋肉感覚とその動作感覚の統合、感覚の統合からおこる概念の形成、概念の形成から起こる言語化という個人の内的発達、また目と手の供応動作によるものもあります。

もうひとつは発達を促す環境的な要素で、職得分離の場所における状況認識、共同作業での人との関わり、ものや道具への興味、技術力の向上にともなう刺激、製造過程における概念の形成など、作業環境によるものや、経済活動への参加、収入を得る喜び、自分で選んで自分で決めて購入する消費体験などもあります。特にこの消費体験は障害者福祉の柱とする自己選択・自己決定の原理の理解につながるものです。これらの成長過程での経験を通して自らの力で幸福を追求していく力をつけていく大きな役割を果たす

ものと思われず。

また成長は障害のある人達だけではなく幸福の追求として、高齢にも関わらず「人間、死ぬまで成長だ」と、たゆまぬ努力をされている方々も少なくはありません。それは存在する意味での幸福の条件であり、またそれだけに憲法13条で幸福追求権として定められています。障害の有無に関わらず「成長」「発達」は人間の本能でもあり生物の原則かもしれませぬ。その基本的なところが、知的障害のある人達にも同じように保障されているかどうかです。我々は意識の持ちようでチャレンジも可能だと言えます。その実感は、そのような環境条件に支えられているからです。しかし環境への不適應として存在する知的障害のある人達は、その整備がされていないとチャレンジすること自体がハンディとなってしまう。

さてそのような成長・発達の取り組みにおける集大成として、今年も新年早々に奈良イトーヨーカドーの協力を得て「あおはにクラフト展」を開催することができました。クラフト展のコンセプトは味わう、癒す、描く、縫う、捏ねる、漉く、削るで、すべて動詞ですが、これは上記の発達支援を意味した表現です。これらの活動には重度障害の人達も全てに関わり、全員参加で出品しました。昨年に引き続き来訪していただいた方々からは、製品の向上や新商品など利用者の成

長について様々の評価を頂き、支援の成果を客観的に判断するこのうえない機会となったところです。

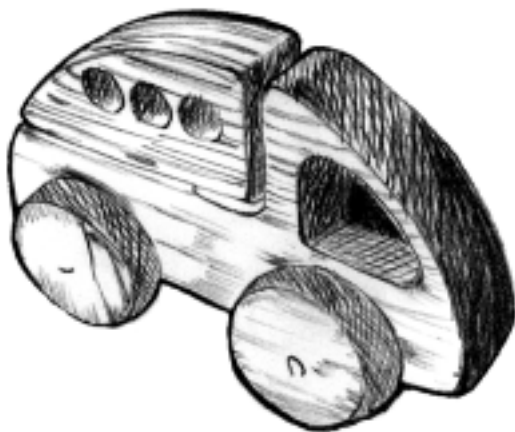
自立支援法は一般就労と地域生活が根本施策とされています。そして利用者本位の権利の保障として自己選択、自己決定が言われています。今後、与党である民主党の進める「障害者権利条約」の批准という施策において「障がい者総合福祉法」は、これまでの自立支援法より尚一層のことが強化される方向性がみられます。また同法は「障害者自立生活運動」

にみられる身体障害を中心とする人達の福祉観を基準にしているようにも思えます。たしかに身体障害の人達にとっては就労の機会や、住みたい所で自由に暮らす。そのために自己選択・自己決定が最大の条件となります。自己選択、自己決定は誰にとつても正しい理念であることは間違いありません。しかし現実的にそれを絶対化して生きることが不可能です。誰しも様々な問題を抱えて生きています。とくに我々の施設を利用している知的に障害のある人達の多くは、その途上にいる人達ですから、その人達が就労に就くことができ地域で暮らす力や、自己選択、自己決定により自らの力も發揮して生きることが可能になるには、社会化に向けた発達や成長の支援こそまず欠かせない要素です。その為には個別支援の中で手を抜くことなく取り組んでいける、きめ細かな制度の確立が何より必要です。

自立理念を原理的にいくら制度化しても知的障害の人達の自立の問題が、それだけでは解決しきれないところに、知的障害の特徴があると思われず。

彼らがQOLを高め少しでも充実した人生を送れるように、発達・成長の道の上をこつこつと努力して個々の力を積み上げていくことを大切に、ものづくりに取り組んでいるところです。

青葉仁会 理事長
榊原 典俊



グループホーム便り

今は亡き岡村幸右エ門画伯の絵から名前を頂いた、青葉仁会最初のグループホーム「サンフラワー」（向日葵）も7年目を迎え、現在5名の方が元気に暮らしている。年齢も生い立ちも性格も様々な彼らが、ひとつ屋根の下で暮らしている。決して家族ではないけれど、自分たちの暮らしを共につくりだしている。

昨年還暦を迎えたYさんは、4年前に30年ぶりに奈良に戻ってきた。周囲の景色も、関わる人間も全て一変するYさんの不安を按じたが、その独特の愛きようとやんちゃさを持つYさんを4名のメンバーが見事に受け入れ支えてくれた。時には厳しくYさんの間違いを正しながら、でも困っていたら必ず助けてくれるKさんSさん。年上のYさんに可愛く甘えたり遊びに誘うHさん。普段寡黙なOさんは、いつもYさんを気遣ってくれた。

今一緒に町を歩いていると、工事現場の方や中学生がYさんに「元気にしてた?」と声をかけてくれる事がある。Yさんの人間性の深さと地域の方の深さを知る。

青葉仁会の居宅支援（行動援護）をご利用頂いている、ある5歳の男の子の母さんは「我が子の将来が不安でたまらなかつたけれど、Yさんを見てみると安心。年をとっても、こうやって多くの方に支えられて暮らしている。」と。Yさんが、

皆に希望を与えてくれている。

7年目の春を迎え、ホームの周囲の桜の木々も芽吹いてきた。その成長はゆっくりではあるが、止まる事はない。桜は桜として、たんぽぽの花はたんぽぽとして存在し、変化し続ける。我々人間が「老いる」という事も、生物の成長の一過程なのだとしたら、死ぬまで日々変化し成長し続けるのであろう。その彼らの成長を、可能性を、邪魔せずに寄り添えればと思う。

地域支援部長
グループホームサービス管理責任者
高原和美



青葉仁会をマシ支援くださった方々

會員

- 1口 山本一樹・マイウェイ福祉の会後援会・高原恒信・寿久美子・高原和美
春日稔・福野有倫・福野裕子・高橋朋広・蓑毛靖夫・葛城昇・柳原典俊
鳥山久美子・山岡照代・久保啓子・上峠通男・西岡哲也・中野明美
ひろせ歯科クリニック・永井弘美・八木徹子・森岡美好・前川好治・山本奈美
福永宗雄・吉川公造・上田孝子・濱田浩・鈴木ふじ子・鈴木恒彦・前川隼
高司示現・松野剛史・小田宗四郎・幸田正子・大野眞明・奥田麻子・藤田栄一
榎幸典・端本峯子・奥村陽人・落合真人・田名出隆芳・小川靖子・小川雅弘
鍵田忠兵衛・田中一郎・松原昇・松原保子・松原幹朗・上田セツ子・妻野勝
橋本和子・江崎瑞裕・山田隆夫・飯田悌孝・大野加津子・中山健・林俊栄
八木順子・油野奈那子・石田邦男・永尾ミチエ・八木謙二・高橋康広
篠崎雄爾・橋本俊博・増田洋子・西川雅与・乾幸介・近藤久・米澤弘明
元村可代子・稲本信正・大野正碩・藤原和彦・川合正子・森久史・平木祐治
玉川吉男・玉川節子・福島英子・阿南雅昭・新谷美穂・穂迫勉・乾幸一郎
成松丞二・清水正一・新忠信・平住優子・山根久子・三住妙子・庄井佳花
国松壽子・松本美穂子・盛田進・谷崎賢二・東邦子・久野完治税理士事務所
藤田末子・市村彰英・高橋政代・大倉源一郎・久保素子・斉藤和子
美山順子・岡崎茂一・渡辺勝
 - 2口 上田弘・政影裕作・元村秀男・大門正巳
 - 3口 堀本武司
 - 10口 林光行・島田信愛・中島弘
- 寄附**
- 5千円以上 野澤宮子・堀本武司・ほつとはーとセンター・億田昭太郎
八木敏行・上田弘・福野有倫・谷川幸子・松原昇・鈴木ふじ子
渡辺瑠璃子・伸和設計・安田初枝・徳西佑男・早川住江
大東市民生児童委員
 - 2万円以上 奥電気設備・京田辺市就労指導委員会・信太三吉・熊取療育園
 - 3万円以上 上田弘・若竹清・愛采果
 - 5万円以上 斉藤和子・長野一江
 - 10万円以上 保険総合研究所・湊打滋一・あおはにAHCG・光専寺